

DIET & BEAUTY

2015
NO.146 03

美容・健康の総合情報紙 http://www.kenko-media.com/diet_beauty/



特集 インナービューティ インナービューティは ライフスタイルに

いま、バラエティやコスメセレクトの店頭、百貨店、モールの提案型コスメ売り場を見ても、**美容サプリメント**や**美容ドリンク**が化粧瓶の横でごく当たり前に売られるようになった。市場はこの**10年で約3倍**になった。ナチュラルな食材も人気だ。亜麻仁、荳胡麻、オリーブオイル、アサイー、酵素・乳酸菌飲料、雑穀など。最近の**ココナッツオイル**の過熱ぶりは、05年当時の空前の健康ブームを彷彿とさせる。これを受けて、近頃はオーガニックコスメ専門店も食材に領域を広げている。TVや女性誌では、**スタイリッシュ**な美容家やタレントが「美は、**健康なカラダ**から」と食に気を配るライフスタイルを提案する。インナービューティはいまや**ファッション**であり**ライフスタイル**だ。もはや、「美」の提案に、内から健康になる「**食**」アイテムは欠かせない。

特集 インナービューティ
美容サプリ&ドリンク1200億円市場へ



2

特集 決済(店舗・WEB)サービス
利便性高まり、利用シーン多彩に



6

話題の施設
「温泉」と「タラソバ」で滞在型提案
タラソバベル モール



8

News
新潟発「植物由来EGF」の
新展開を発表



9

話題の 店舗

「温泉」と「タラソスパ」で滞在型提案

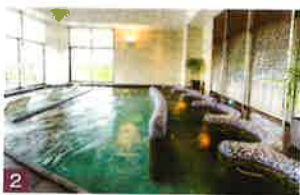
タラソスパ ベル メール (Thalasso Spa Belle mer)

ホテル オリオン
モトブ リゾート&スパ 内

昨年7月、オリオンビールグループが展開する「ホテル オリオン モトブ リゾート」が開業した。沖縄本島、西海岸北部の本部町に位置し、徒歩圏内には最大の観光スポット「沖縄美ら海水族館」が控えている。絶景のビーチに、温泉とタランを備え、県北部エリアへの滞在需要を喚起する。

沖縄北部での滞在型観光を提案

ホテルのメインエントランスを入ると、目の前に抜けるような青空とエメラルド色の海が広がる。遠くに伊江島が浮かんで見える。天気恵まれれば近くでホエール



2 水流や温度、水圧で刺激するタラソプール。
3 施術ルーム／「海のバイタル」プログラムは、タラソプールとサウナを利用するバイタルツアー、炭酸バンジエ、アルゴバック(140分9,720円)が含まれている。



1 全室がオーシャンビュー、建物左手が各種スイートのはいるクラブウィング、右手がオーシャンウィング。

ウォッチングができるという。全室オーシャンビューの客室の下は、名前通りエメラルドビーチ。4～10月は海水浴場になる。

空港からのアクセスは車で約100分。那覇中心の市街観光とは違う北部エリアのリゾートでゆったり過ごす滞在型の旅を提案する。滞在時間の過ごし方として天然温泉とその温海水を活用したタラソテラピースパを完備した。館内の食事に飽きがこないようにレストランは、和・洋・中・鉄板焼をセクションごとカウンター型にしてバリエーションを持たせた。客室は全238室。その内訳は、オーシャンウィング(50㎡～)215室、クラブウィングの各種スイート(66㎡～)は23室(16歳以上)。オープンしてから、夏場、年末年始～1月と高稼働が続いている。熟年層や三世代利用も多く、リピーターも出てきた。温泉の日帰り利用も受け入れており、温泉&ランチセットも人気だ。

「古代海水」のタラソテラピープログラムを提供

1,500mを掘削した温泉はナトリウム泉。この温海水を活用し水圧、水流、温度で刺激するタラソプールを核にしてプログラムを展開する。その他、温熱室のハمام、海水の微粒子が充填するエアロゾル室、アフグース(アロマサウナ)室を完備している。施術ルームは7室(カップルルーム1)。水流マッサージで刺激するバンジエ用バスや、海藻を使ったアルゴバックなどのボディパック専用ベッドを備えた部屋もある。セラビストは7名で、14種のタラソプログラム(140分～)と、25種のトリートメントを提供する。

日中は外来客、夜間は宿泊者の利用が中心で、現在は、まだ、フェイシャルスキンケア(60分15,120円～)の希望が多いという。「古代の海水を活用した本格的な全身のタランを体験してもらいたい」と

話す。まずは、名護周辺に宿泊した女性観光客のチェックアウト後の時間や那覇市内のOL層の週末利用を狙う。北部エリアは那覇のOLにとってもリゾートなのだという。スパ&ランチプラン(3,000円～)も用意した。まずは日中利用でタラソへの理解を促進する。

2020年沖縄観光客1000万人へ

沖縄は昨年からのホテルの開業が続いており、中部や東海岸の開発も進行中だ。超大型ショッピングモールやUSJの誘致も決まった。沖縄を訪れる観光客は年々増加傾向。2014年は過去最高の700万人を突破した。特に外国人観光客数前年比62.2%増の89万3500人。国内客は5.1%増の616万2700人。環境は整った。次は、こうして訪れた観光客に沖縄の何を見てもらい体験してもらうかだ。2020年には観光客数1,000万人を目指す。